



大阪府池田市 部活動の地域移行について

令和6年10月3日 池田市教育委員会



本日の流れ（お伝えしたいこと）

①

池田市の部活動が抱える課題

②

取り組み概況

③

池田市が目指す「地域移行」について



本日の流れ（お伝えしたいこと）

①

池田市の部活動が抱える課題

②

取り組み概況

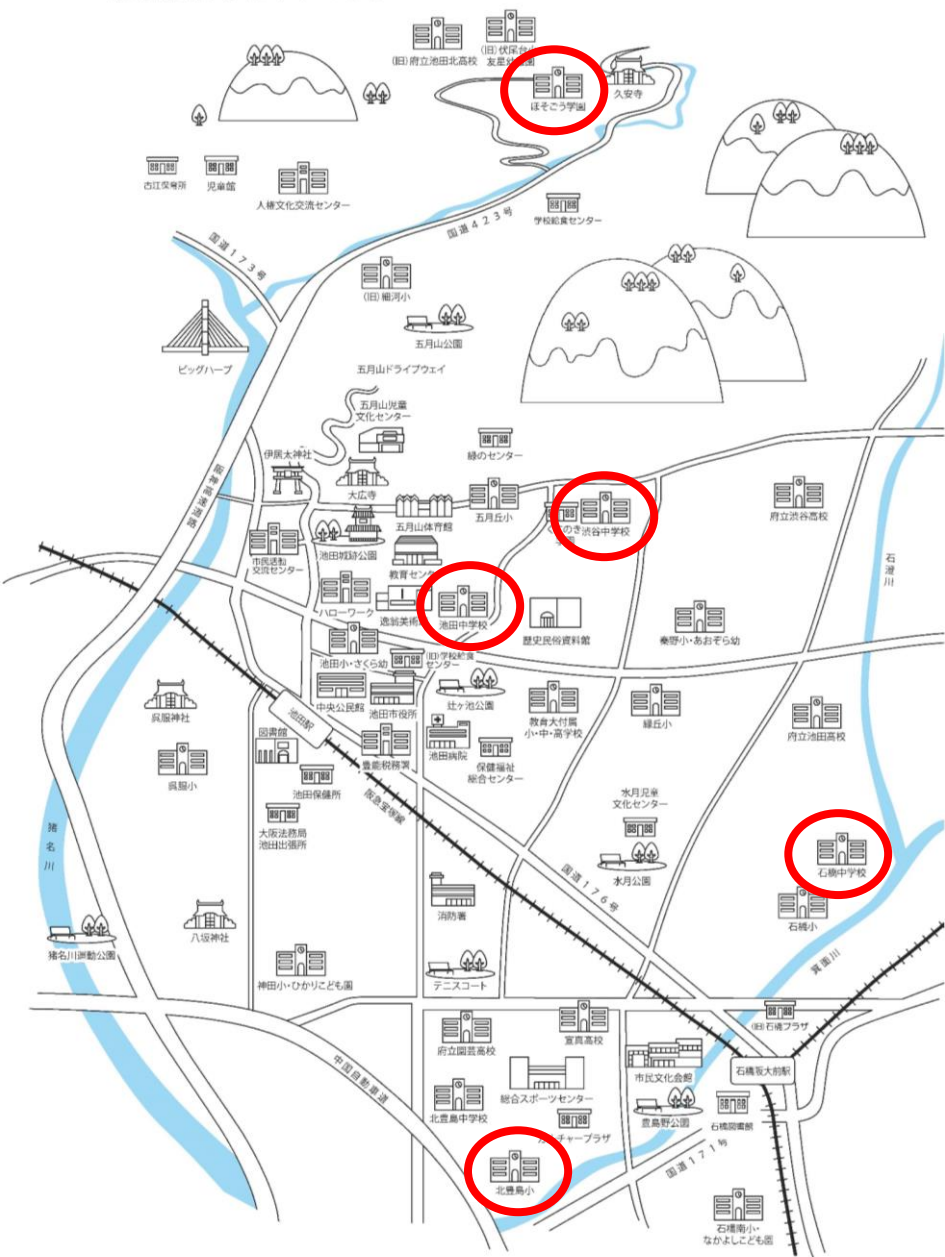
③

池田市が目指す「地域移行」について



池田市とは・・・

= 教育施設等ガイドマップ =



市域面積
地 勢
人 口

22.14km²
東西 3.82km 南北 10.28km
102,795人(2024.4月現在)

令和6年4月現在

中学校名	在籍数	クラス数
池田	635人	23
渋谷	779人	28
北豊島	466人	18
石橋	437人	19
ほそごう(後)	175人	9



池田市の部活動設置数

現在の部活動はどのように位置づけられているのか

●各校の設置状況について

運動部	陸上	水泳	サッカー	柔道	剣道	卓球	男ソフト テニス	女ソフト テニス	野球	バド	男バレー	女バレー	男バスケ	女バスケ	ソフト ボール
池田	●		●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●
渋谷	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
北豊島	●	●	●					●	●	●		●	●	●	
石橋	●	●			●	●	●	●	●	●		●	●	●	
ほそごう			●		●	●		●	●	●				●	

文化部	美術	吹奏楽	家庭科	放送	演劇	科学 理科	技術 工作	箏曲
池田	●	●	●	●	●	●		
渋谷	●	●	●			●	●	●
北豊島	●	●					●	
石橋	●	●						
ほそごう	●	●						



部活動が抱える課題

働き方(人)

- ・長時間勤務の常態化
- ・経験のない文化・スポーツを指導する
(参考) 教員になりたい人の減少

財源

- ・外部人材を活用した場合
- ・外部クラブに委託を行った場合
(参考) クラブ運営に必要な業務

持続可能性

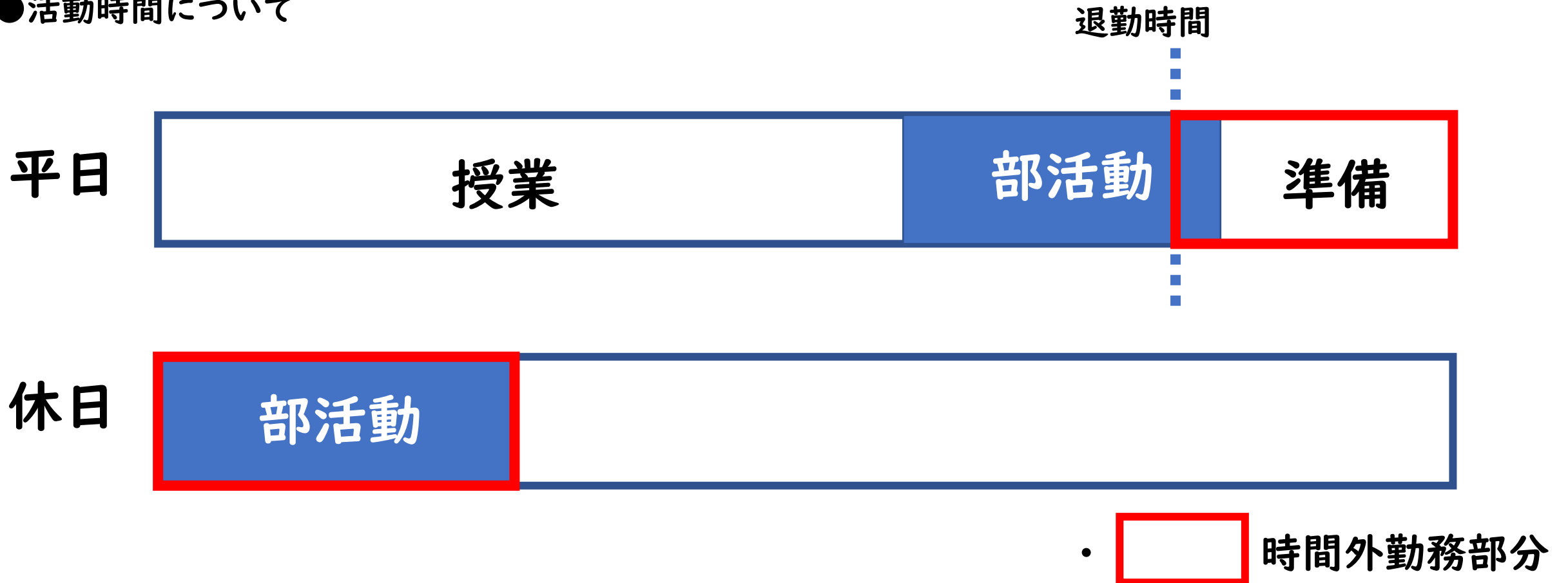
- ・子どもの数の減少＝学校間での差
- ・子どものニーズの多様化



部活動が抱える課題

働き方について（長時間勤務）

●活動時間について



そもそも部活動自体が時間外勤務を前提としている



部活動が抱える課題

働き方について（長時間勤務）

国指針：1か月45時間以内

(%)

月当たりの全体に対する 超過勤務者数の割合	2019年		2020年		2021年		2022年	
	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校
80時間以上	5.2	19.9	2.8	15.3	2.7	14.6	1.3	12.4
45～80時間	28.0	33.3	27.2	33.4	28.2	35.2	21.8	32.1
45時間未満	66.8	46.8	69.9	51.3	69.1	50.3	76.9	55.5

参考：池田市「【基本施策】第2次教育振興計画」46ページ

小学校教員と比べて中学校教員の長時間勤務が常態化
超過勤務分については基本的には無償



部活動が抱える課題

働き方について（経験したことのない種目の指導）

（人）

令和5年度	池田市全体	
	文化部	運動部
全体顧問数	43	180
内未経験	18	89
未経験割合	41.9%	49.4%

参考：池田市令和5年度部活動実態調査より

半数に近い教員が携わったことのない種目を指導
異動により翌年度も同じ活動に携われる訳ではない



部活動が抱える課題

参考：大阪府豊能地区公立学校教員採用倍率推移

中学校	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
採用数 (人)	35	40	40	40	50
志願者数 (人)	325	335	294	276	263
採用倍率 (倍)	9.0	6.8	6.3	7.1	4.9

参考：大阪府豊能地区人事協議会HP
「令和6年度大阪府豊能地区公立学校教員採用選考テスト選考結果概要」

教員の志願者数が急減⇔採用数は増加

※小学校も同様の傾向



部活動が抱える課題

財源について（外部人材を活用した場合）

	運動部	文化部	外部指導員数	平日	平日時間	休日	休日時間	指導単価	必要金額
池田	13	6	32人	140日	2時間	80日	3時間	1600円	26,624,000円
渋谷	14	6	34人	140日	2時間	80日	3時間	1600円	28,288,000円
北豊島	11	3	25人	140日	2時間	80日	3時間	1600円	20,800,000円
石橋	11	2	24人	140日	2時間	80日	3時間	1600円	19,968,000円
ほそごう	7	2	16人	140日	2時間	80日	3時間	1600円	13,312,000円
※運動部の指導員は2名・文化部の指導員は1名で試算 ※休日は土日50日、長期休業30日で試算 ※指導員単価の1600円／時間については国・府の単価に準じるもの								合計	108,992,000円

参考：池田市議会 2022年9月28日 教育部長答弁内容に基づき作成

現行の部活動を外部人材で実施する場合、巨額の予算が必要
 ⇔ 平日15時～17時に従事できる人材は限られる



部活動が抱える課題

財源について（外部クラブを活用した場合）

参考：令和6年度当初予算要求資料をもとに作成

変動費	平日	休日	1回の時間	指導者数	指導者単価	管理指導者数	管理指導単価 ※最低賃金を目安
	48日	48日	2時間	2人	1600円	1人	1100円

固定費	参加者・指導者保険	消耗品	事務費 ※活動費全体の5%目安
	100,000円	100,000円	50,000円

**1クラブあたりの必要金額
1,075,600円**

※40人規模のクラブを想定（1学年10人～15人）
 ※活動日は現在取り組んでいる市からの委託活動を前提として試算
 ※消耗品はボール・テープ・ネット等のスポーツ用具を想定（ゴールや支柱は学校と共用）

現行部活動規模（75部活）を外部化する場合は80,670,000円



部活動が抱える課題

参考：部活動（クラブ）を運営していくためにどのような業務があるか

運営する人

- ・募集のための広報
- ・生徒募集&保険加入
- ・保護者連絡
- ・活動計画作成
- ・会場確保（支払い）
- ・資金管理（支出報告）
- ・指導者調整
- ・その他、運営業務

指導する人

- ・練習計画作成
- ・指導&監督
- ・大会引率
- ・参加者との意思疎通
- ・審判
- ・大会運営
- ・その他、指導業務



部活動が抱える課題

持続可能性について

	2024年	2030年 (推計)
中学校在籍数	2492人	2250人

※小学校在籍数などから算定

池田市でも確実な少子化が見込まれる予想



部活動が抱える課題

子どものニーズの多様化（アンケート調査より）

対 象－池田市立小学校・義務教育学校に通う4年生から6年生

対象人数－2562人

期間－2024年7月5日～7月19日まで回答期間

回答数－1647人（全体2562人）（回収率64%）

中学生になったら取り組みたい文化・スポーツ活動は？

網掛けは部活動未設置

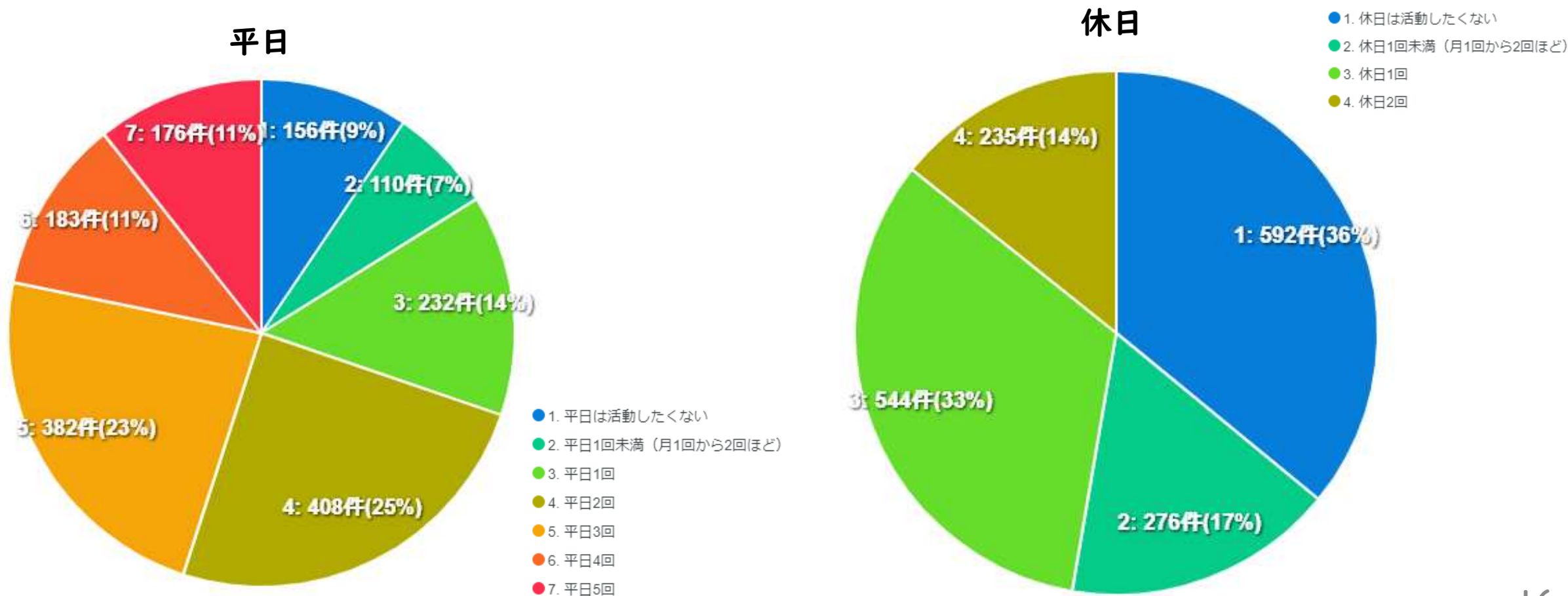
	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
ス ポ ー ツ	バドミントン	水泳	バスケ	サッカー	ダンス	硬式テニス	バレーボール	陸上	卓球	体操
文 化	学習塾	英語	ピアノ	吹奏楽	パソコン	工芸・工作	美術	料理	漫画・アニメ	書道



部活動が抱える課題

子どものニーズの多様化（アンケート調査より）

中学生になったら取り組みたい文化・スポーツ活動の活動頻度は？





部活動が抱える課題

まとめ（現行部活動に対する池田市教育委員会の考え）

- ❗ 部活動（希望制）に伴う中学校教員の働き方の現実
- ❗ 現行規模での活動数を維持することが困難（予算面・人材面）
- ❗ 確実な少子化の見込み（6年後10%減見込み）

地域移行を検討していくにあたって、上記のような現実から
部活動自体をゼロから再設計する必要がある



本日の流れ（お伝えしたいこと）

①

池田市の部活動が抱える課題

2024年度（令和6年度）より
「部活動地域移行協議会」を立
ち上げ、移行の方向性について
議論（これまでに2回開催）

②

取り組み概況

③

池田市が目指す「地域移行」について



取り組み概況について

地域移行に対する取り組みの大前提として・・・

学校教育ではなく、社会教育分野で受け皿を育成する

① 将来の完全地域移行を見据え、受け皿となる地域クラブを拡充する

【活動概要】

- ・週2回（平日1回・休日1回）の夜間に活動枠を設け、スポーツクラブの運営を委託する
- ・場所は学校の体育館で行うが、鍵の開け閉め等の施設管理は受託者で行う
- ・受託者は参加者の受付や保険加入などの運営事務も行う

② 「協議会」を設置し、地域移行の指針を策定する

【活動概要】

- ・「協議会」を設置し本市の地域移行の方針を策定する
（参加メンバー）
教育委員会／中学校・小学校／地域クラブ／スポーツ関係者／PTAなど



取り組み概況について

2022年度（令和4年度）

委託団体	開始月	委託額	活動曜日	登録人数	活動回数	1回の参加人数	延べ参加人数	1回の指導者数（平均）
OctJapan （バスケットボール）	11月	407,296円	木・日	24人	32回	20人	640人	4.1人
バレーボール協会	11月	298,020円	日	58人	20回	25.4人	509人	3.75人

2023年度（令和5年度）

委託団体	開始月	委託額	活動曜日	登録人数	活動回数	1回の参加人数	延べ参加人数	1回の指導者数（平均）
OctJapan （バスケットボール）	4月	754,000円	木・日	58人※	62回	20.4人	1266人	2.7人
バレーボール協会	4月	754,000円	木・日	65人※	98回	21.2人	2083人	3.1人
剣道協会	9月	543,776円	月・土	20人	45回	5.1人	232人	4.2人
卓球協会	9月	543,776円	水・土	8人	52回	3.4人	177人	2.4人
みどりスポーツ財団 （ダンス）	11月	463,120円	金・日	8人	33回	5.6人	185人	1.0人



取り組み概況について

2024年度(令和6年度)

委託団体	開始月	委託額	活動曜日	登録人数(5月末時点)	会費
OctJapan (バスケットボール)	4月	814,000円	木・日	27人	月1,000円 ※入会時、スポーツ保険料(1,000円) が別途必要
バレーボール協会	4月	814,000円	木・日	56人	年3,000円(週1回) 年5,000円(週2回)
剣道協会	4月	814,000円	月・土	20人	無料
卓球協会	4月	814,000円	水・土	9人	無料
みどりスポーツ財団 (ダンス)	4月	814,000円	金・日	21人	無料
柔道協会	5月	812,000円	火・土	3人	無料
ハンドボール協会	5月	812,000円	水・木	14人	無料
バドミントン協会	5月	812,000円	水・土	23人	年7,700円
Sports United Ikeda (サッカー)	5月	812,000円	火・土	12人	月4,000円(週1回) 月6,000円(週2回)



取り組み概況について

会費の基本的な考え方

どこかの段階で会費制にしてほしいことをお願い

【理由】

- ・団体の自立自走を促し、財政支援がなくても運営が続くようにする
- ・すべての地域クラブを公費で支援し続けることは現実的ではない

過去の経過と今後の目標

令和4年

令和5年

令和6年

令和7年

令和8年

令和9年

・参加費無料で実施

- ・無料だと登録しても来ない生徒がいる
→本来入りたい人が入れない
- ・指導のために臨時で増員するなど
委託料を超えた支出が発生している



できる団体から会費制を実施
新規団体にも会費制を促す

・一部クラブで会費制に

- ・今のところ、有料化したことへのご意見等はない
- ・今後も段階的な適正会費の徴収をお願い
→令和8年度末を目安に自立自走を伝達



種目によって相場が異なることから一律
の会費は設定しない方向

・完全会費制

課題

困窮世帯に対する補助



取り組み概況について

協議会の実施について(過程)

2022年度(令和4年度)

当初は「部活動」について、市教委・学校で意見がかみ合わない・・・

- ・11月に委託事業を開始
- ・2月に教員へのアンケート実施

委託事業のスタートや教員の意見が可視化されることで
徐々に方向性が定まってくる

2023年度(令和5年度)

協議会の前身となる「連絡会」を組織

【メンバー】

- ・市教委、中学校長、地域クラブの代表者

【議論の概要】

- ・部活動の地域移行の着地点について
→まずは関係者間での合意形成を目指す

令和9年度の移行を目標に定めることで合意



取り組み概況について

協議会の実施について(過程)

2024年度(令和6年度)

協議会を組織

【メンバー】

・市教委、中学校長、小学校長、スポーツの代表者、地域クラブの代表者、PTA

【議論の概要】

・部活動の地域移行の着地点や具体的移行の手法について

実施日	経過
6月14日	・9年度の地域移行案や地域クラブの取り組み内容・学校部活動の現状を説明
8月29日	・地域移行案の補足事項を説明、小学校高学年へのアンケート結果を説明、 近隣市の取り組みを説明 →9年度より部活動の募集を停止し地域移行を目指していくことで合意 →移行方法(一斉or段階)や具体的な周知方法等については次回以降議論
10月30日	・具体的な地域移行計画の骨子を審議予定

保護者の理解をどのように促していくか・・・



本日の流れ（お伝えしたいこと）

①

池田市の部活動が抱える課題

②

取り組み概況

③

池田市が目指す「地域移行」について



池田市が目指す「地域移行」について

地域移行に期待されるもの（効果）

学校教育

- ・教員の負担軽減
→授業や行事・生徒指導など本業へ還元

社会教育

- ・選択できる環境構築
- ・専門指導を受けられる保障（安全）



池田市が目指す「地域移行」について

具体的な移行計画

目標

令和9年度から部活動の新規募集を停止し、
中学生は興味関心を抱く文化・スポーツクラブに主体的に参加する

- ！ 移行後は学校教育活動ではなく社会教育活動
- ！ 学校区関係なく参加できる活動へ
- ！ 活動については受益者負担（会費制）をお願い



池田市が目指す「地域移行」について

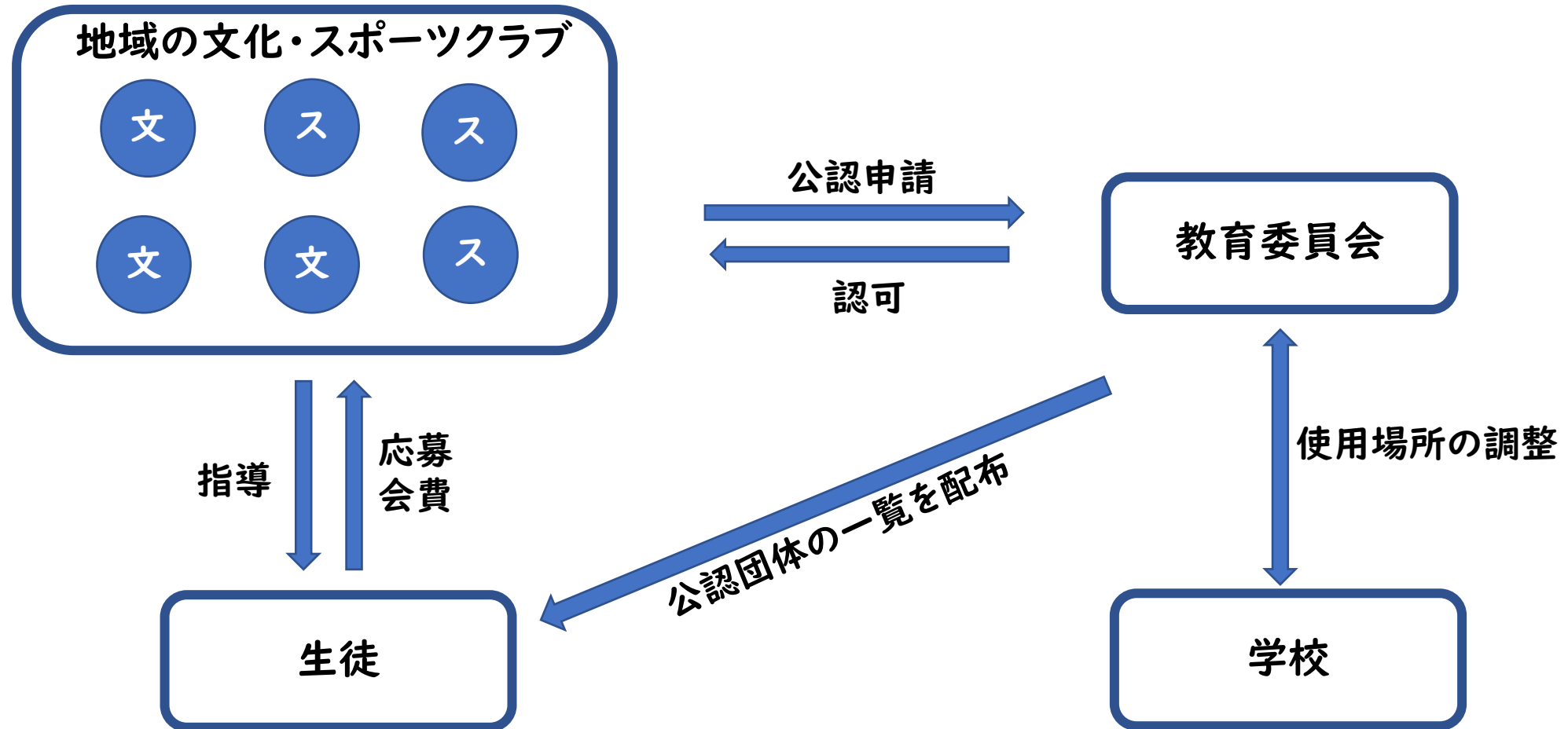
部活動との比較

	部活動	(新) 地域クラブ
場所	学校	学校・公共施設・民間施設
活動日数	週5日が一般的 (平日4日・休日1日)	週1日～4日程度 クラブがレベルやニーズに応じて設定
活動時間	放課後～17時頃	17時以降
参加者	当該校の生徒のみ	市内の生徒 (国立・私立可、市外も定員まで検討)
指導者	教員	地域指導者 (教員の兼業兼職も可)
会費	基本無料	会費制
専門性	△	◎
その他		掛け持ち可



池田市が目指す「地域移行」について

地域移行した後の実施イメージ(案)



地域クラブを市教委で公認し、一覧を生徒に配布

生徒は一覧より興味のある活動に参加（一覧にないクラブ・市外クラブの参加もOK）



池田市が目指す「地域移行」について

地域移行スケジュール(案)

2024年
令和6年

2025年
令和7年

2026年
令和8年

2027年
令和9年

2028年
令和10年

2029年
令和11年

地域クラブの充実化 部活動も並行			部活動 募集停止	地域クラブへ	
小3	小4	小5	小6	中1	中2
小4	小5	小6	中1	中2	中3
小5	小6	中1	中2	中3	
小6	中1	中2	中3		
中1	中2	中3			

9年度からの一斉停止or段階停止(検討課題)



池田市が目指す「地域移行」について

今後の予定（案） 具体の計画案については「部活動地域移行協議会」にて議論・骨子の作成

10月

第3回地域移行協議会 地域移行計画の具体的内容を議論予定

11月

12月

第4回地域移行協議会 地域移行計画（案）を決定予定

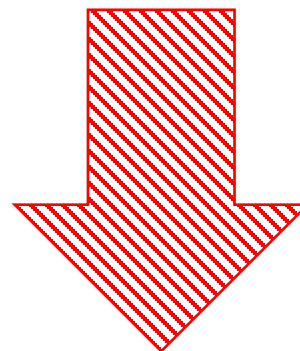
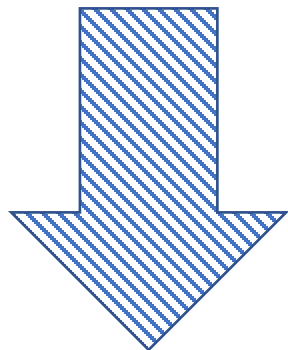
1月

各所で説明会を実施予定

地域クラブの登録開始

2月

3月





池田市が目指す「地域移行」について

まとめ（地域移行に対する池田市教育委員会の考え方）

- ！ 部活動の枠ではなく、社会教育領域で新たな環境の構築
- ！ 会費制での運営
- ！ 公認制による専門指導の保障、質の保障

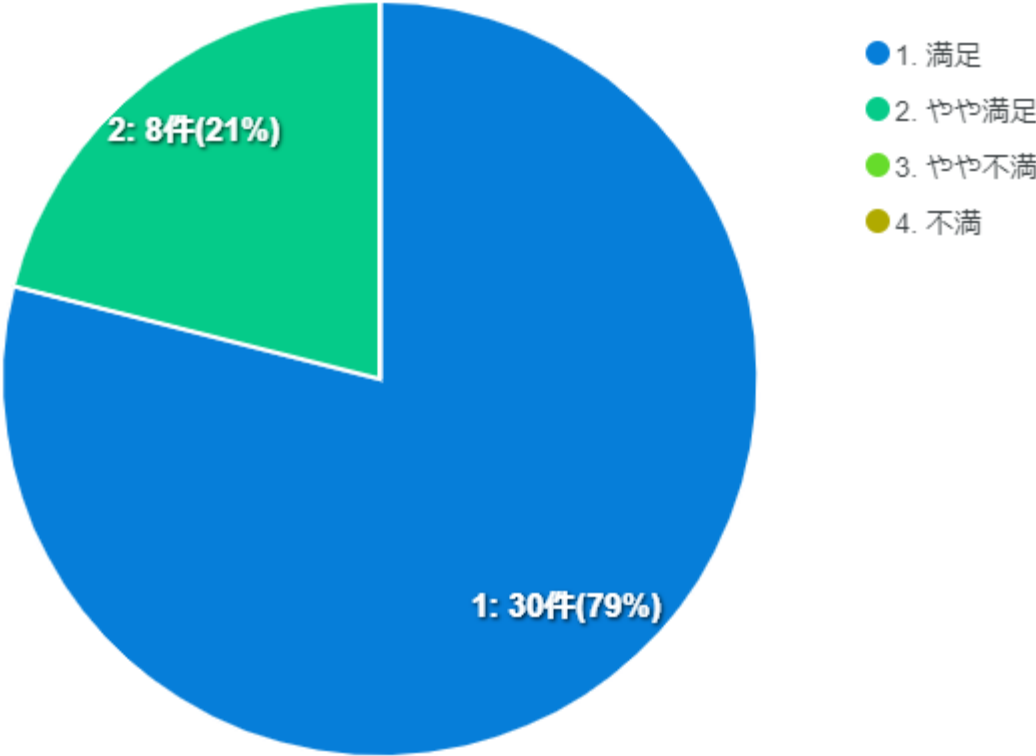
働き方の改善に伴う授業や生徒指導等、学校教育の質の向上
専門指導や希望する活動ができる社会教育の質の向上



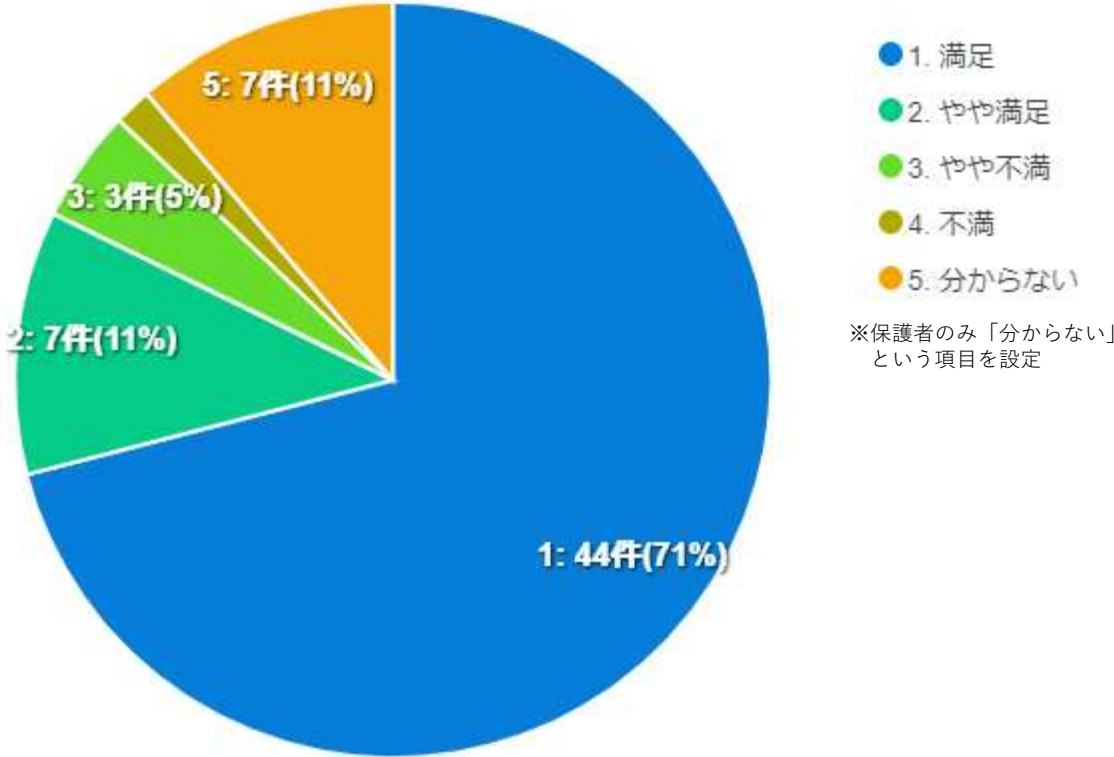
参考①

試行している地域クラブ委託事業の指導者の満足度について

生徒の回答



保護者の回答

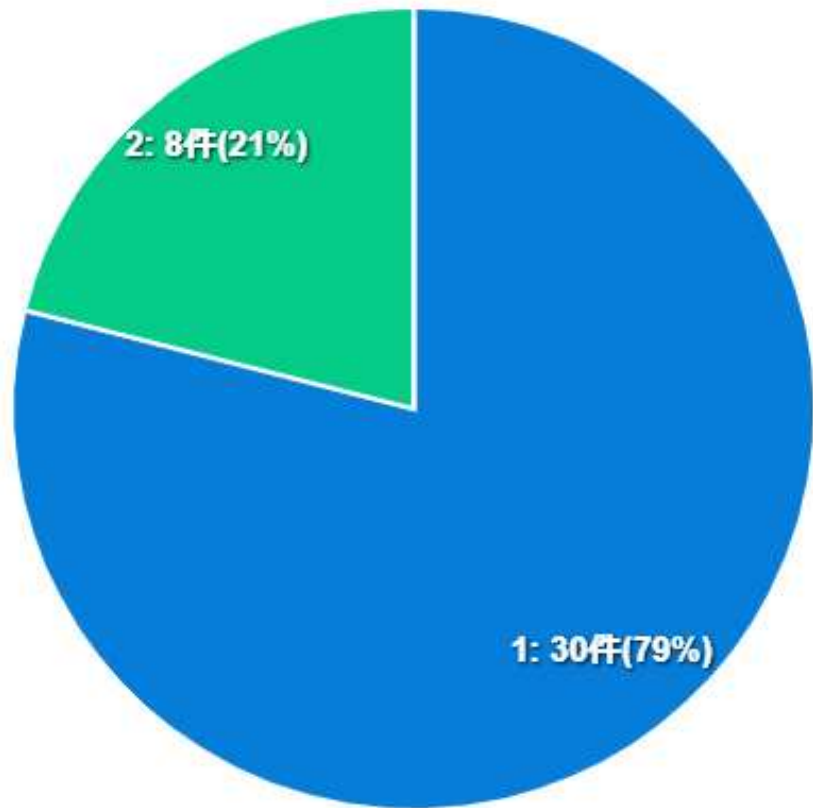


生徒は全員満足
保護者も全体の8割が満足

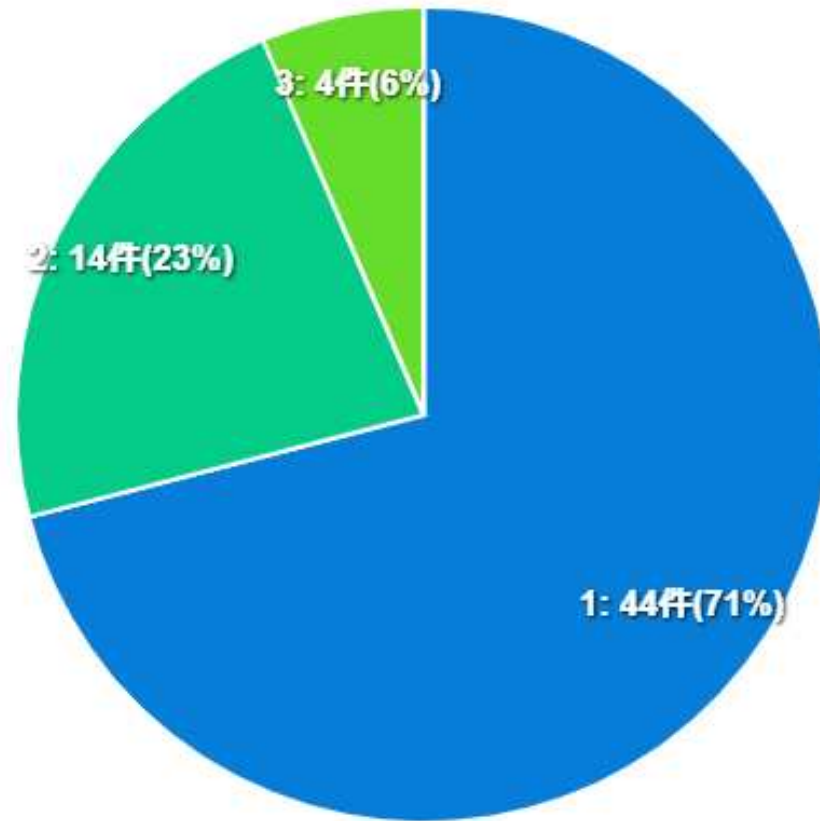


試行している地域クラブ委託事業のクラブ自体の満足度について

生徒の回答



保護者の回答



指導者の質が高い
＝生徒・保護者ともに高い満足度